

音楽研究会 鑑賞部会 記録

日時	平成30年1月10日(水) 15:30~16:45			
部会名	鑑賞部会	主任	曳田 裕子(白幡小)	
参加数	11名	司会	澤 由美(日吉南小)	記録 青柳 直人(下野谷小)

鑑賞部会テーマ

音楽のよさや面白さ、美しさを自ら感じ取り、聴き味わう鑑賞活動

研究仮説

子どもの実態や教材分析をもとに学習展開を工夫することにより、子ども自らが音楽の面白さ、美しさを感じ取り、聴く喜びを感じ取ることができる。

○研究授業の分析と考察

提案：山下 明子先生(下野庭小)

田邊 直美先生(小菅ヶ谷小)

<子どもたちがとらえていた演奏のよさ>

- ・速度
- ・物語性
- ・強弱
- ・男の心情や情景
- ・間

<有効だった手立て>

- ・音源 →ただし、2種類の音源を用いる意図を、教師が明確にもつ。
- ・学習カード →歌詞を横書きにしたことで、言葉のリズムや繰り返しなどがとらえやすかった。
- ・少人数グループ学習 →子どもの実態に合っていた。

<課題>

・全体での共有化

聴き取ったことと感じ取ったことの間を、音楽を通して確かめる。

→子どもたちがとらえやすい部分 多くの子どもが感じ取っていた部分

本授業では 『寒い北風 木の根っこ』の部分

→楽曲全体をとらえるために

3番 4番 5番のつながりを、速度や強弱などを中心に聴くとよかった。

曲のどの部分を取り上げ、授業のどの場面で、何回聴くのか、計画する。

・発問

学習のめあてや活動の内容が子どもたちに明確に伝わる言葉の吟味

・活動の目的の明確化

付箋を用いたグループ学習

教師側が、何のために、付箋を用いたグループ学習をするのか、意図をはっきりともつ。

聴き取ったことや感じ取ったことをどのように整理するのか、子どもたちと共有する。

○3月の実践提案に向けた教材研究

学年 第1学年

教材 「ラデツキー行進曲」 ヨハン シュトラウス(父)作曲

[共通事項]を窓口にした楽曲分析

拍の流れ 強弱 を中心に扱う

体の動きで感じ取る活動